

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る事業効果

(単位：円)

NO	事業名称	所管課	事業目的	対象	経費内訳		実績	効果・検証
					事業費	(うち交付金)		
1	事業継続支援助成費	経済課	「北海道スタイル」を实践し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組む町内小規模事業者等へ支援金一律15万円を支給する。	事業者	33,600,000	33,600,000	実績224事業者	申請時に「北海道スタイル」を実施する旨の誓約書を提出させることにより、町内業者の感染防止対策の周知徹底が図られた。感染防止対策に取り組む事業者への支援が図られた。
2	消費喚起支援	経済課	町内での買い物及び飲食に使える商品券(1万円分)を町民に無料配布し、消費喚起を支援する	飲食店 小売店等	30,977,297	29,294,000	対象3,032人 使用率98.6%	町内飲食店・小売り業者などの支援が図られた。
3	地元産材活用支援事業	経済課	町の一大イベントである「産業まつり」が中止となることから、全町民に町産黒毛和牛を配布する。	事業者 町民	8,029,200	8,029,000	町産黒毛和牛肉(200g)を3,018人発送処理	産業まつり中止に伴う、町産黒毛和牛の消費縮小が抑えられた。直接受渡しの処理は行わず、全て発送により処理することで感染予防を図った。不要不急の外出自粛が続く中、地産地消や巣ごもり需要にも合致する明るい話題となった。
5	防災活動支援事業	企画振興課	災害時の避難所用感染症予防対策のためマスクや消毒液、パーテーションなどを備蓄する。	町(防災)	2,502,390	2,502,000	マスク2万枚、段ボールベッド20台、段ボールパーテーション40枚、その他消毒液など	感染症に対応した避難所設営への備蓄が図られた。
6	必需物品供給事業	保健福祉課	町内社会福祉施設・介護施設・各高齢者団体・保育施設等へマスク・アルコール消毒液を配布し、感染予防を徹底する。	社会福祉施設 高齢者団体等	1,239,832	1,239,000	マスク・消毒液を町内社会福祉施設、介護施設、高齢者団体、保育施設などに配布。12施設、9団体	各施設・団体などの感染防止に効果的であり、感染者は発生しなかった。
9	公共的空間安全・安心確保事業	総務課 保健福祉課	公共施設等に赤外線検温器・アルコールディスペンサー・パーテーションを配置し、感染予防を図る。また、不特定多数が集まる公共施設や、イベントで使用するためサーモグラフィを導入する。	公共施設等	2,422,200	2,422,000	赤外線体温計やアルコールディスペンサー、パーテーションなどを、公共施設等に設置した。24施設	各施設の感染防止に効果的であり、感染者は発生しなかった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る事業効果

(単位：円)

NO	事業名称	所管課	事業目的	対象	経費内訳		実績	効果・検証
					事業費	(うち交付金)		
10	密集軽減のための輸送能力増強事業	教育委員会管理課	3密を防ぐためスクールバスの運行を増便する。	小中学生	2,772,000	2,772,000	スクールバス1便を増便した。合計126回	通学時の3密回避に効果的であり、児童・生徒に感染者は発生しなかった。
13	GIGAスクール端末導入事業	教育委員会管理課	国が進めるGIGAスクール構想を進めるため町内小中学校3校の児童生徒・教員用に1人1台PC端末を整備する。	小中学生 教員	10,435,000	10,435,000	町内小中学校3校の児童生徒・教員にPC端末を一人1台整備した。合計200台	児童生徒一人一台端末を活用した学習活動の充実が図られている。
14～ 15	公立学校情報機器整備費補助金	教育委員会管理課	休校中の遠隔授業等に対応するため、町内小中学校3校に端末周辺機器を整備する。	小中学校	140,866	88,000	町内小中学校3校にウェブカメラを整備した。合計17台	遠隔授業等への対応が図られた。
16	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会管理課	町内小中学校3校及び共同調理場の再開に伴う感染症対策として、自動水栓整備や、換気対策などを実施する。	小中学校	6,015,417	3,000,000	町内小中学校3校の校内手洗い場の自動水栓化、扇風機配備、消毒用品など	町内小中学校の感染症予防対策に効果的であり、児童・生徒に感染者は発生しなかった。
17	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	保健福祉課	小平町立小平診療所に新型コロナウイルス等感染症対策拡大予防対策として、プレハブによる発熱外来を設置する。	医療機関	3,207,336	3,207,000	プレハブ1棟、診察・医療器具、換気設備、暖房設備等	発熱外来を設置することで、院内感染防止が図られた。また、クラスターは発生しなかった。
18～ 20	無線システム普及支援事業費等補助金	企画振興課	遠隔授業や、遠隔診療、スマート農業などに対応するため、町内の未整備地区全域に、光ファイバー回線を整備する。	町	354,063,000	218,285,000	光ファイバー回線整備 町内全地区	今後、国が進めるデジタル推進社会を構築するための基盤が整備され、遠隔授業などの感染症予防対策が図られた。
21	学校保健特別対策事業費補助金	教育委員会管理課	集団感染のリスクを避け、児童生徒が安心して学べるよう保健衛生用品等(マスク)の整備を図る。	小中学生	56,100	0	町内小中学校3校にマスクを配布した。合計800枚	集団感染リスクの軽減に効果的であり、児童・生徒に感染者は発生しなかった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業に係る事業効果

(単位：円)

NO	事業名称	所管課	事業目的	対象	経費内訳		実績	効果・検証
					事業費	(うち交付金)		
22	子ども・子育て支援交付金	保健福祉課	新型コロナウイルスの影響により小学校が臨時休校した際、臨時的に午前から放課後児童クラブを開所することによって保護者の負担軽減を図る。	保護者	212,639	0	臨時的に午前から放課後児童クラブを開所した。 小平地区18日 鬼鹿地区17日	保護者の負担軽減が図られた。
23	学校臨時休業対策費補助金	教育委員会管理課	学校の臨時休業で学校給食を休止したことに伴い給食費を保護者へ返還し、負担軽減を図る。	保護者	53,243	0	2/27、2/28の給食費を保護者へ返還した。	保護者への負担軽減が図られた。
24	共同調理場備品購入事業	教育委員会管理課	学校における3密対策に伴い給食提供で必要となる共同調理場の備品を整備する。	小中学生	462,825	462,000	食缶 5個、保冷庫 2台、カゴ台車1台	学校給食提供に伴う3密対策が図られた。
					456,189,345	315,335,000		